



【スポーツツーリズムコンテンツ創出事業】

事業名：北海道十勝サイクルウェルネスツアー造成事業

成果報告発表会
令和7年2月28日

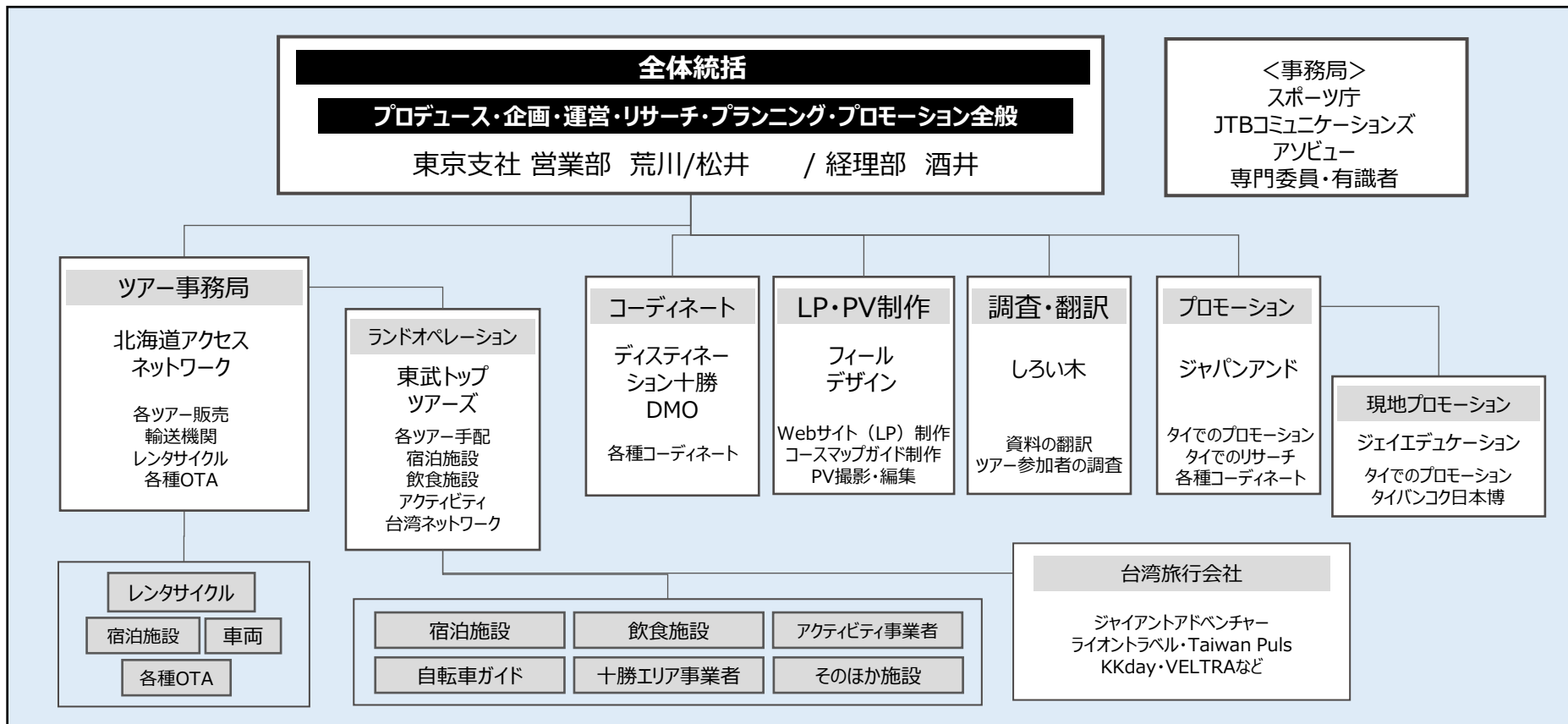
事業の概要 プロジェクト概要

▼プロジェクト概要

①概要 (エリアと内容)	十勝エリアでのサイクリングを中心としたアドベンチャートラベル商品の開発し、地域の魅力向上や消費額拡大または長期滞在に資する地域全体での誘客パッケージを造成する
②実施目的	エリアが抱える二次交通に関する課題を解決すべく、サイクリングを主としたエリアの特性を生かせる着地型のウェルネスツアーを企画しモニターツアーを実施することで、ターゲットニーズを把握し、自走のための下地を作る
③ターゲット	タイや台湾都心部に住むDINKS・国内アクティブシニアやDINKSの自転車愛好家 (OTA販売や市場規模から考えて、初級から中級レベルをメインターゲットとし、間口を広くする)
④KPI	満足度向上 ⇒モニターツアー客のプログラム全体への期待値以上の満足度を目指す（特に、女性参加者の満足度向上を目指す） 現地スタッフのスキルアップ ⇒サイクルガイド、食事、宿泊、アクティビティなど現地スタッフの連携・スキル向上・意識変化を目指す 現地での消費額増加 ⇒サイクルツアー参加者によるツアー実施エリアの経済的効果（客単価アップなど）を目指す
⑤効果検証方法	モニターツアーを行い、ツアー参加者や関係者へのアンケートにより検証

実施体制

■ 実施体制



全体スケジュール

■ 全体スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

実施計画策定

2024年6月下旬～7月中旬

連携事業や都の調整・企画開発・担当割り振り
タイのリサーチからアクティビティやメニュー・PR計画の素案作り

現地下見・関係者調整

2024年7月上旬～7月中旬

連携事業者との顔合わせ
下見前に暫定的にルートやコースを計画

内容検討・成果指標設定

2024年7月中旬～7月下旬

コース選定用のモデルルート企画
本事業の成果指標の設定

ルート選定ツアー実施

2024年8月9日～11日

サイクルルートの検証とコースの妥当性を検証するためのルート選定ツアーを実施、有識者を招聘し安全性・難易度・満足度・休憩スペース・トイレ位置など、総合的に検証し、有識者からのフィードバックをもとに4つのモデルルートを策定

モニターツアー実施

2024年8月15日～18日

ターゲット国であるタイからモニターを招聘し、モデルルートを走行し、各種アクティビティに参加してもらい、期待度や満足度の調査を行い、ツアー内容の意見を集約した。同時に、モニター自身のSNS等でツアー内容を発信

ターゲット・プロモーション

事前アンケート結果・ルート選定ツアーのフィードバック・モニターツアーの調査結果とエリアのポテンシャルから、ツアーの方向性とそれぞれのターゲット像を整理し、特設サイト（LP）にPVを掲載し、英語版プレスリリース、公式SNSでの情報発信、タイ・台湾の旅行会社へのアプローチ、タイサイクリストへのアプローチなどのプロモーションを実施

2024年8月下旬～1月上旬

販売計画

モニターからのフィードバックをもとにした商品開発、販売メニューの検討、旅行会社やOTAとの連携、現地事業者との連携、販売メニューの決定

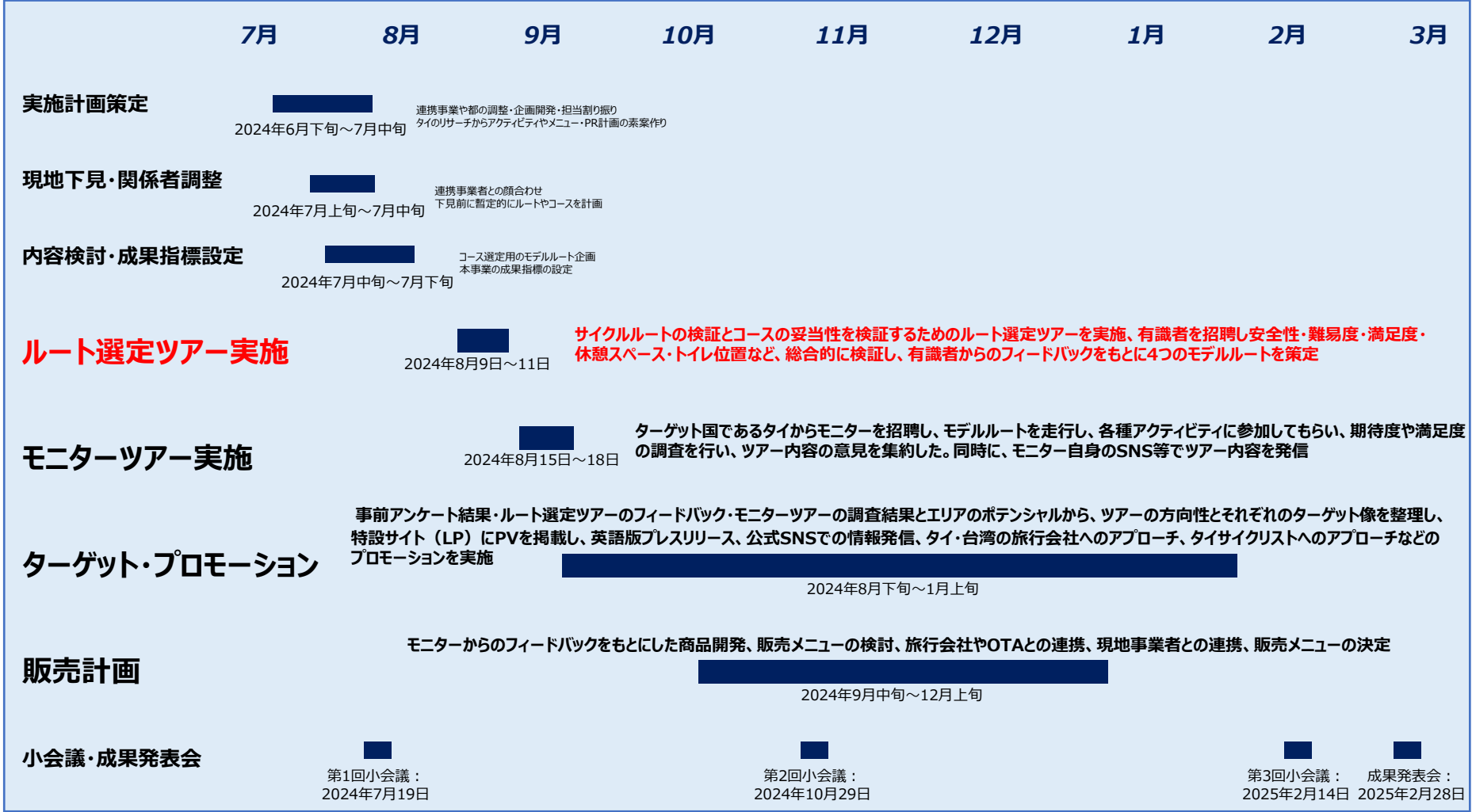
2024年9月中旬～12月上旬

小会議・成果発表会

第1回小会議：
2024年7月19日第2回小会議：
2024年10月29日第3回小会議： 成果発表会：
2025年2月14日 2025年2月28日

ルート選定ツアーについて

■ 全体スケジュール



ルート選定ツアー 行程表
実施期間：8月8日（木）～8月11日（日）
参加人数：有識者2名（男女各1名）
■ 行程表

選定ツアーのハイライト						
2泊3日のサイクリングツアーは、帯広空港を起点に十勝の豊かな自然風景を満喫できるルート。中級から上級者向けのルートは体力や好みに応じてアレンジも可能。収穫時期の広大な畑作風景、白樺峠からのパノラマビュー、天空の湖「然別湖」、ヘアピンコースを楽しむ幌鹿峠、源泉かけ流しの糠平源泉郷、小高い丘の上にあるガーデン「十勝ヒルズ」、十勝グラベル、白樺並木やカラマツ並木など北海道らしい見どころが満載。地元スイーツや特産物を堪能し、地元食材を使った美食と共に美しい景色を楽しむことができるサイクリング。						
日付	行程			食事	宿泊地	自転車 その他
0 8/8 (木)	※ツアー前日、スペシャライズドレンタサイクルを輸送 ※自転車運搬用の車両（＝A車） サポートカー的な役割の車両（＝S車）					
1 8/9 (金)	JAL573便 羽田空港 7:45 → 帯広空港／空港にて合流（A車／自転車積込） 9:20 A車にて 十勝川温泉へ移動 9:50 10:30 A車にて 十勝川---〔サイクリング UHB D3 走行距離36.2km／獲得標高324m〕---帯広駅---ぬかびら源泉郷 16:00 17:00 主な地点：道の駅ガーデンSPA、ととろーど、十勝ヒルズ、真鍋庭園 昼食：十勝ヒルズ（12時30分頃） 8月モニターツアー 3日目午後の予定ルートを試走			朝：各自 昼：十勝ヒルズ 夕：糠平	糠平	＝アクセスチーム＝ 〔A車〕1台 〔自転車〕2台 〔同行〕山本 ＝十勝チーム＝ 〔ガイド〕小川 〔S車〕1台及川 〔同行〕渡邊
2 8/10 (土)	糠平ホテル---〔オプションサイクリング UHB D2_1 走行距離63.2 km／獲得標高878 m〕---糠平ホテル 3:30 主な地点：三国峠 日の出4:12頃 松見S山頂G 4:00～4:30 ダウンヒル4:30～5:00 三又白樺5:30 糠平ホテル---〔サイクリング UHB D2_2 走行距離90.3 km／獲得標高1,080 m〕---帯広市内ホテル 9:00 10:00 主な地点：幌鹿峠、然別湖、湖底線路、扇ヶ原展望台 バイクジョアリング施設見学、十勝グラベル、白樺並木 昼食予定：鹿追町（13時頃） 8月モニターツアー 2日目予定ルートを試走			朝：糠平 昼：然別湖 夕：帯広	帯広	＝アクセスチーム＝ 〔A車〕1台 〔自転車〕2台 〔同行〕山本 ＝十勝チーム＝ 〔ガイド〕小川 〔S車〕1台及川 〔同行〕渡邊
3 8/11 (日)	帯広駅---〔サイクリング UHB D4 走行距離21.3 km／獲得標高114 m〕---帯広市内各所 8:00 11:30 主な地点：とてつぼ通り、カラマツ並木、酒蔵碧雲蔵、ますやパン麦音、 帯広の森、十勝オーバル、ウエモンズハート JAL574便 昼食後、A車にて空港へ>>> 帯広空港 11:30～13:30 *約40分 14:10 15:20 羽田空港 17:00 8月モニターツアー 4日目予定ルートを試走			朝：帯広 昼：各自		＝アクセスチーム＝ 〔A車〕1台 〔自転車〕2台 〔同行〕山本 ＝十勝チーム＝ 〔ガイド〕小川 〔S車〕1台渡邊 〔同行〕渡邊

ルート選定ツアー 参加有識者

実施期間：8月8日（木）～8月11日（日）
参加人数：有識者2名（男女各1名）

■有識者プロフィール

エグゼクティブコースダイレクター

山口和幸（やまぐち・かずゆき）

サイクリストという専門的な立場から、体力面・観光地との兼ね合い・景色・休憩場所・安全性・満足度などの要素により、コース選定・ルート選定を依頼した。

経歴

ツール・ド・フランス取材歴30年のスポーツジャーナリスト。自転車をはじめ、卓球・陸上・ボート競技などを追い、日刊スポーツ、東京中日スポーツ、Number、Tarzan、YAHOO!ニュース、ダイヤモンド・オンラインなどで執筆。日本国内で行われる自転車の国際大会では広報を歴任。著書に『シマノ～世界を制した自転車パーツ～堺の町工場が世界標準となるまで』（光文社）。2013年6月18日に講談社現代新書『ツール・ド・フランス』を上梓。青山学院大学文学部フランス文学科卒。



コースダイレクター

斉藤由佳（さいとう・ゆか）

女性サイクリストとして、体力面での意見などを聞いた。

経歴

自転車歴10年のサイクリストとして、国内外の各種大会に参戦。1日100km超をこなし、山岳コースを得意とする。年間走行距離1万km。東京中日スポーツや自転車関連WEBで、しまなみ海道、西上州、国内最高峰渋峠などの実走記事に多数登場。



今回プラットフォームとしては、Ride with GPS という全世界で普及しているサイクリストAPPを使用し、作成したルートをAPP上にインストールした。



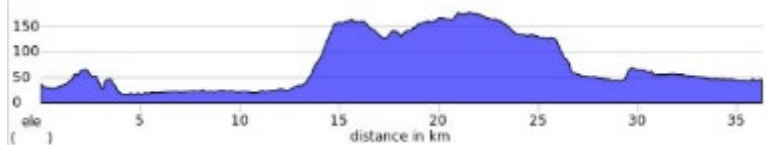
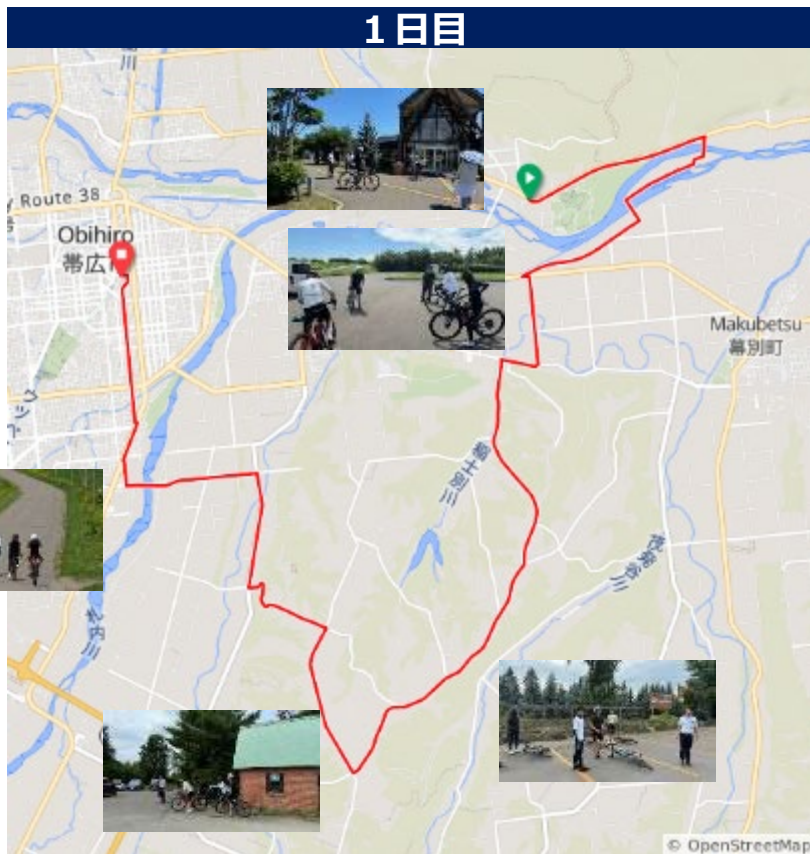
Ride with GPS は、すべてのデバイス間でシームレスに統合され、Garmin、Wahoo、Hammerheadのお気に入りのヘッドユニットにルートをワイヤレスで同期します。Ride with GPS は、Garmin Varia と互換性のある唯一のサードパーティ アプリであるため、安全かつ快適に走行できます。Ride with GPS は、前方を走行しているときに後方を振り返り、モバイル アプリ内の視覚的および聴覚的なアラートを通じて車両の接近を通知します。

ルート選定ツアー ルート 初日/・2日目

実施期間：8月8日（木）～8月11日（日）

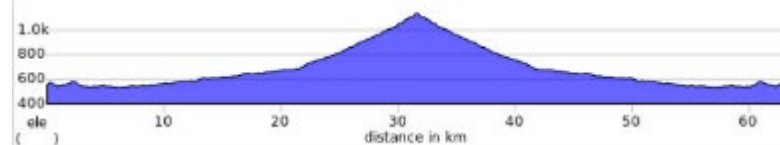
参加人数：有識者2名（男女各1名）

1日目



総距離 36.2 km + 324 m 昇 10.1 %
総時間 00:00 降 - 313 m 降 -8.6 %

2日目 サインライズライド



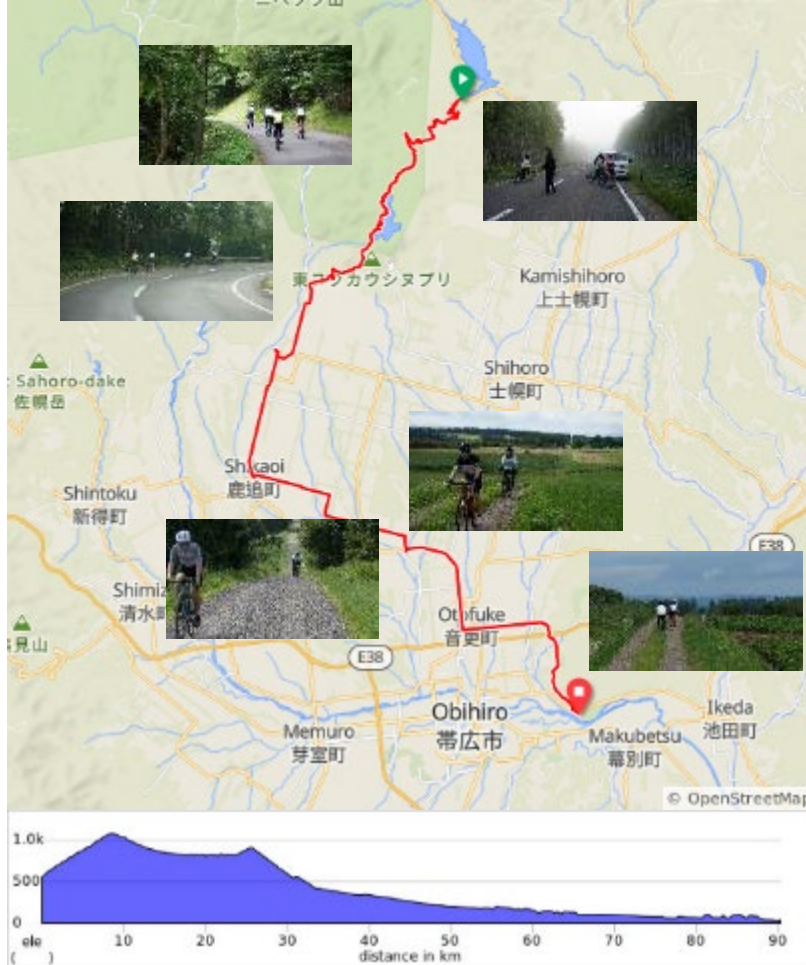
総距離 63.2 km + 878 m 昇 12.4 %
総時間 00:00 降 - 879 m 降 -11.4 %

ルート選定ツアー ルート 2日目・3日目

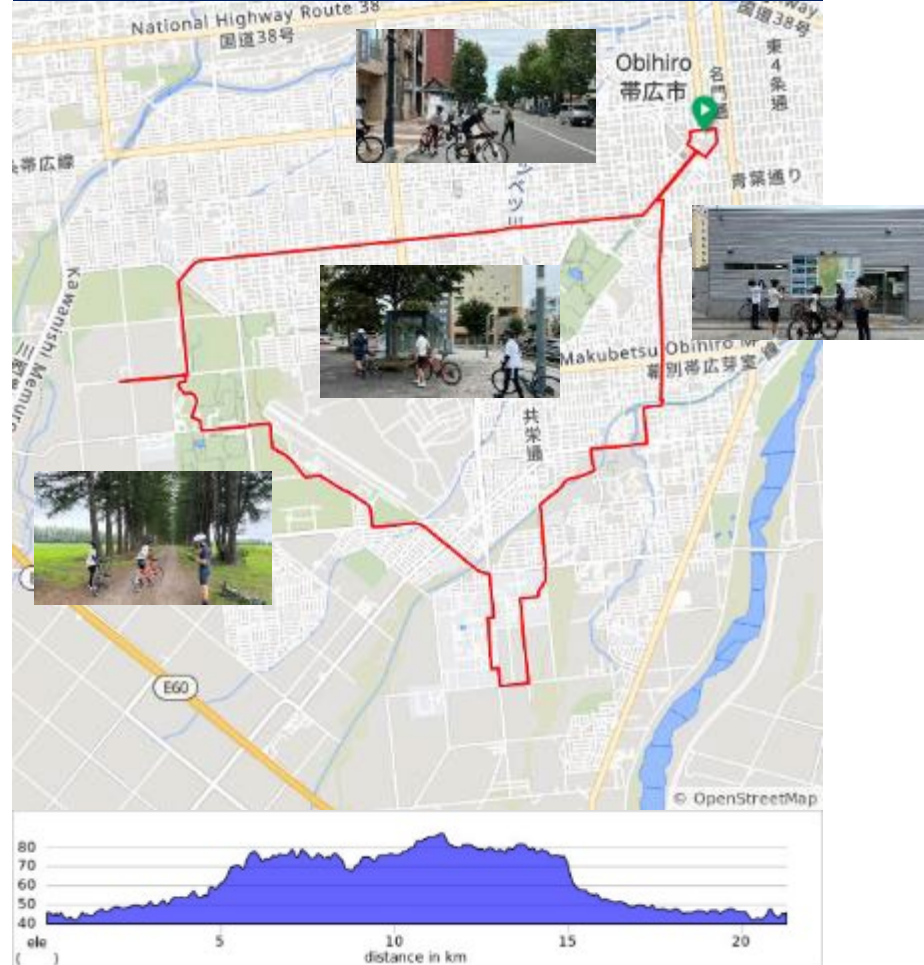
実施期間：8月8日（木）～8月11日（日）

参加人数：有識者2名（男女各1名）

2日目 然別湖～十勝グラベル～白樺並木



3日目 帯広市内ポタリング



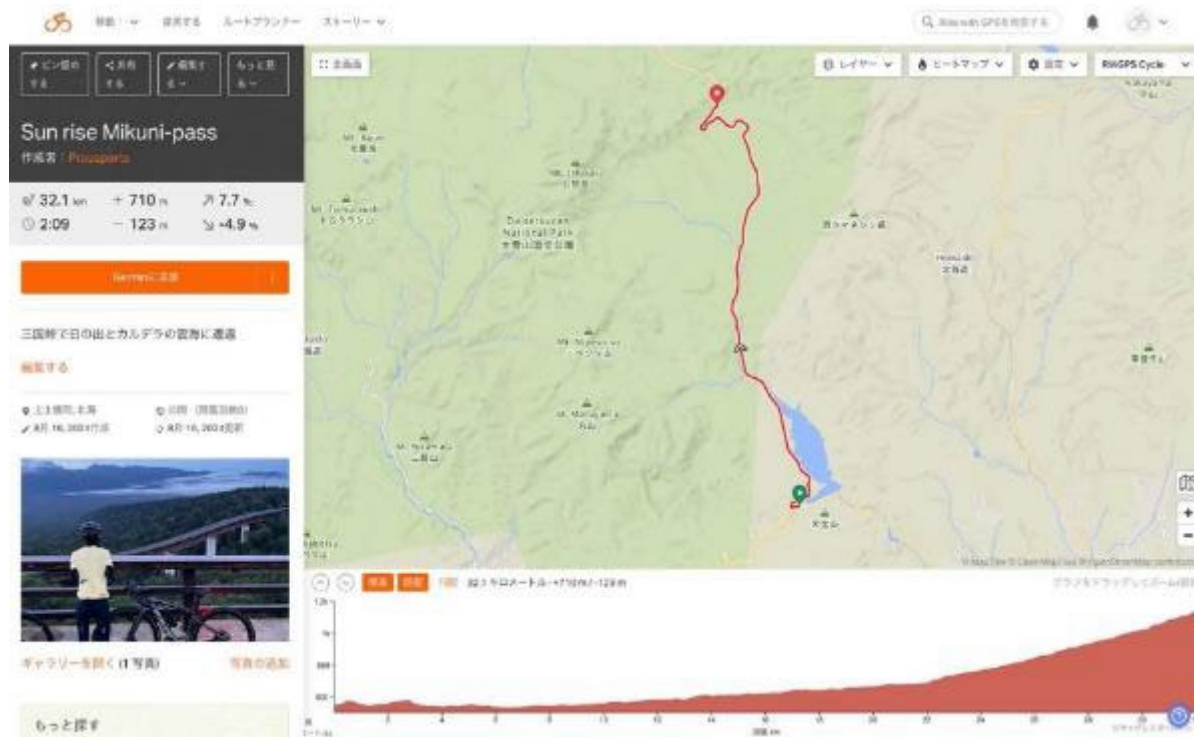
ルート選定ツアー有識者フィードバックから、作成した4ルート

■ルート② Sun rise Mikuni-pass

三国峠で日の出とカルデラの雲海に遭遇



<https://ridewithgps.com/routes/48033928>



早起きすれば幻想的シーンを目撃できるチャンスが生まれる

北海道の国道の中で最も標高の高い三国峠(標高1,139m)を目指す。糠平湖畔にある糠平温泉に宿を取り、日の出の時間を見計らって出発する。ルートの勾配は比較的緩やかだが、距離が長いので、適当なところまでクルマを駆使してアプローチしてもいい。途中には美しい白樺林が朝もやに浮かび上がり、旧士幌線橋梁跡も目撃することができる。樹海と松見大橋が織り成す美しい眺めの向こうにカルデラ地帯の雲海が目撃でき、幻想的なサンライズに感動するチャンスもある。三国峠の展望台脇にある休憩所では、店主自慢のコーヒーやソフトクリームが人気。閉店時でも使用できるトイレあり。水飲み用の水道は開店時のみ使用可。ルートはきれいに整備された舗装路で、仮にダウンヒルしてスタート地点に戻るとしても安心だ。宿の温泉で汗を流しても朝食時間に間に合い、チェックアウトするという作戦も可能。

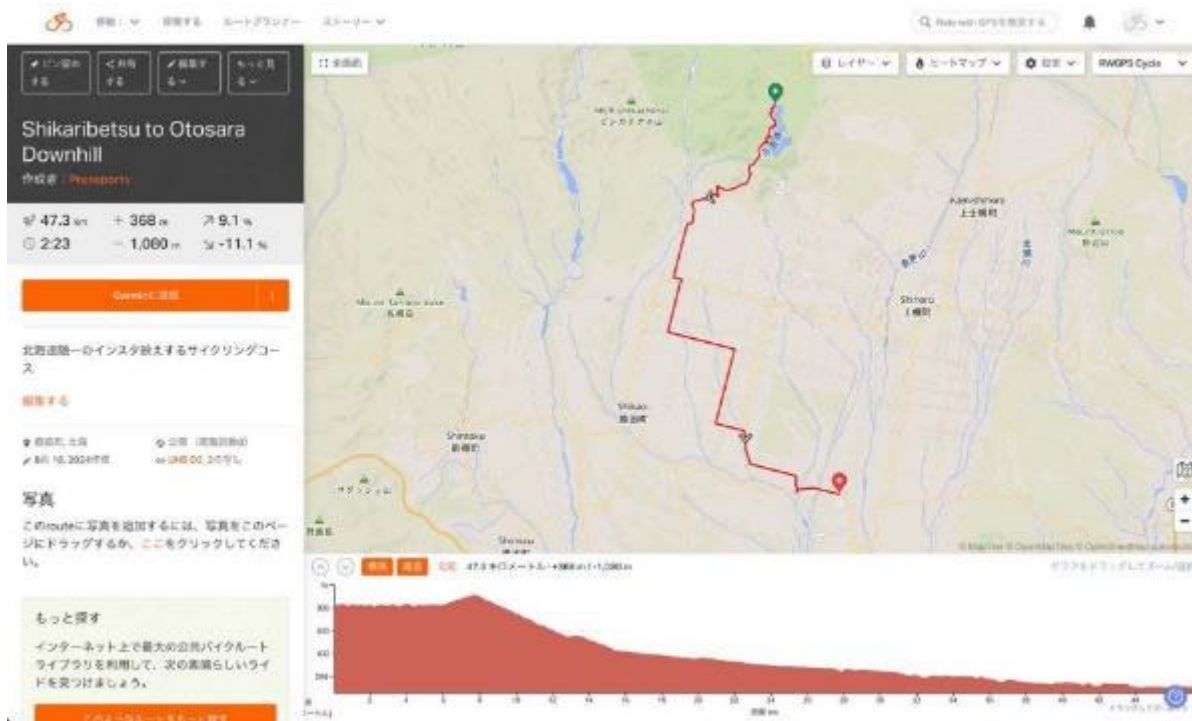
北海道・上士幌町

- スタート 糠平(ぬかびら)温泉郷
- ゴール 三国峠展望台
- 見どころ 三国峠の日の出、白樺林、旧士幌線橋梁跡
- 距離 32.1km(片道)
- 獲得標高 710m
- 難易度★★★

ルート選定ツアー有識者フィードバックから、作成した4ルート

■ルート③ Shikaribetsu to Ootosara Downhill

北海道随一のインスタ映えるサイクリングコース



<https://ridewithgps.com/routes/48033876>



映画のようなロケーションばかり、SNSで話題になる

スタートの然別湖（しかりべつこ）は湖に突き出たデッキのチェア、湖底に向かう線路のシーンが撮影できる。湖から白樺峠まで上ればあとは下り基調。ゆるやかなうねりが連続する直線路をジェットコースターに乗るように走っていく。途中で出現する未舗装路はサイクリストの間では「グラベル」と呼ばれる。太めのタイヤならワクワクしながら走れるし、グラベルに突入しないと目撃できない景観があるのでここは外せない。十勝牧場展望台は360度にわたって北の大地が見渡せるスポット。さらにグラベルを進むと美しい十勝牧場白樺並木の中を走ることができる。ペダリングをアシストしてくれるeバイクを選択するのが正解。コース途中でソフトクリームを口にするなどでリセットすれば長距離でも楽しく完走できる。

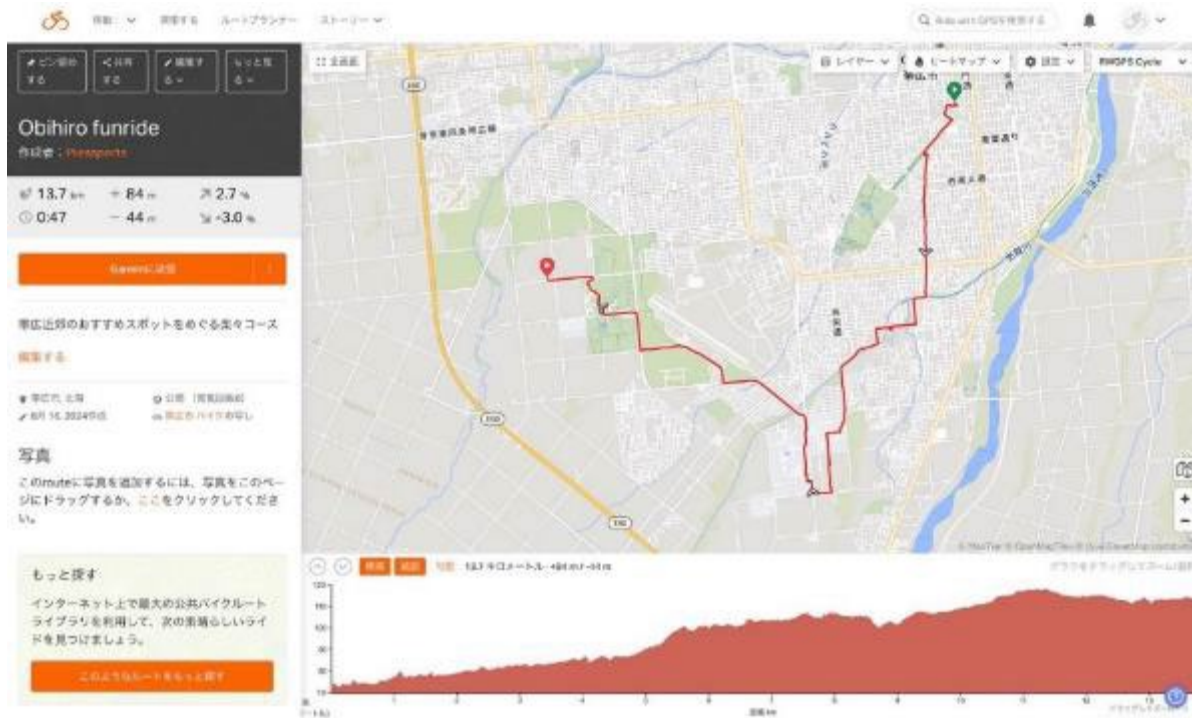
北海道・鹿追町、音更町

- スタート 然別湖北岸
- ゴール 十勝牧場白樺並木
- 見どころ 然別湖、湖底線路、バイクジョアリング施設、十勝グラベル、白樺並木
- 距離 47.3 km
- 獲得標高 368m
- 難易度★★

ルート選定ツアー有識者フィードバックから、作成した4ルート

■ルート④ Obihiro funride

帯広近郊のおすすめスポットをめぐる楽々コース



<https://ridewithgps.com/routes/48033892>



ジェラートから行列のできるパン屋、日本酒など帯広を名産でつなぐ

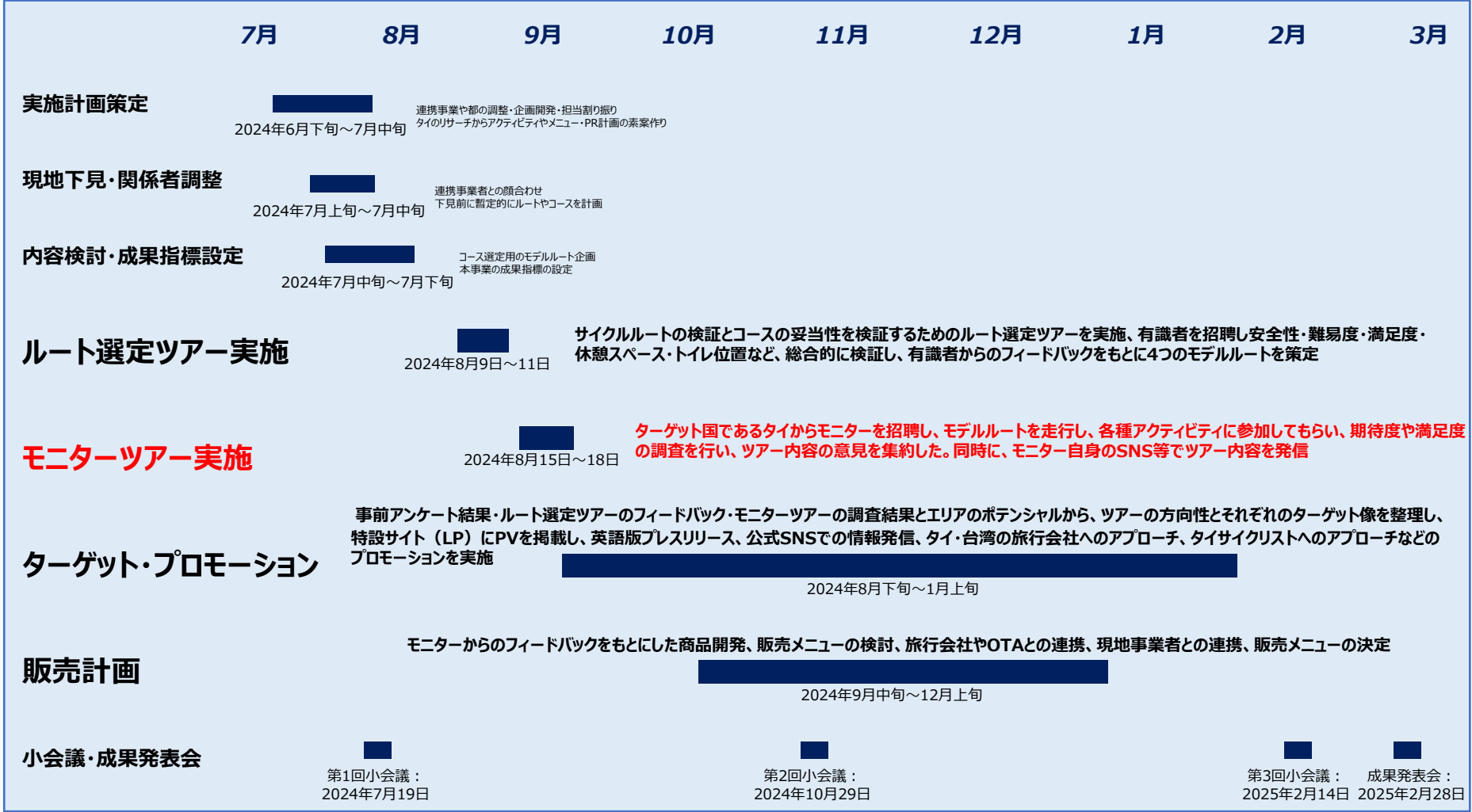
十勝鉄道の線路跡を利用した、歩行者・自転車道「とてつぼ通」を走って南下。帯広市内の美味しいものを見つけるための自由で気軽なボタリング（のんびりと自転車走ること）。まずやパン麦音は地元で人気の銘店で、広大な敷地内のベンチで休憩しながら口にすることもできる。帯広農業高の南にあるカラマツ林を通り、帯広畜産大の敷地内にある上川大雪酒造 碧雲蔵shopを訪ねれば、ガラス越しに酒造り現場を見学できる。帯広の森には明治北海道十勝オーバルがあって、駐輪場にはスピードスケート選手がクロストレーニングとして導入しているロードバイクもズバリ。近くにある広瀬牧場ウエモンズハートのジェラートがオススメ。帯広駅発着の周回ルートにしてもおよそ20km。店舗を巡る順番も気の向くままがいい。

北海道・帯広市

- スタート JR帯広駅
- ゴール 広瀬牧場ウエモンズハート
- 見どころ とてつぼ通り、十勝鉄道蒸気機関車、ますやパン麦音、稲田カラマツ防風林、上川大雪酒造 碧雲蔵、帯広の森、十勝オーバル、広瀬牧場ウエモンズハート
- 距離 13.7km
- 獲得標高 84m
- 難易度★

モニターツアーについて

■ 全体スケジュール



モニターツアー行程表

実施期間：8月14日（水）～8月18日（日）
参加人数：モニター3名＋通訳1名（タイ国籍 女性4名）

■ 行程表

[illegible]

モニターツアー参加者

■参加者プロフィール

Chondarin Subarna Na Ayudhya（ルークさん）



IG フォロワー 約2,100人
YT フォロワー 約600人

Narinporn Wiwongsak（ユイさん）



IG フォロワー 約1,900人

Supatchaya Kobkuvattana（プングさん）



IG フォロワー 約1,600人

タイの旅行ページ「go!graph」のモニターとしても活躍する3人のタイ人インフルエンサー

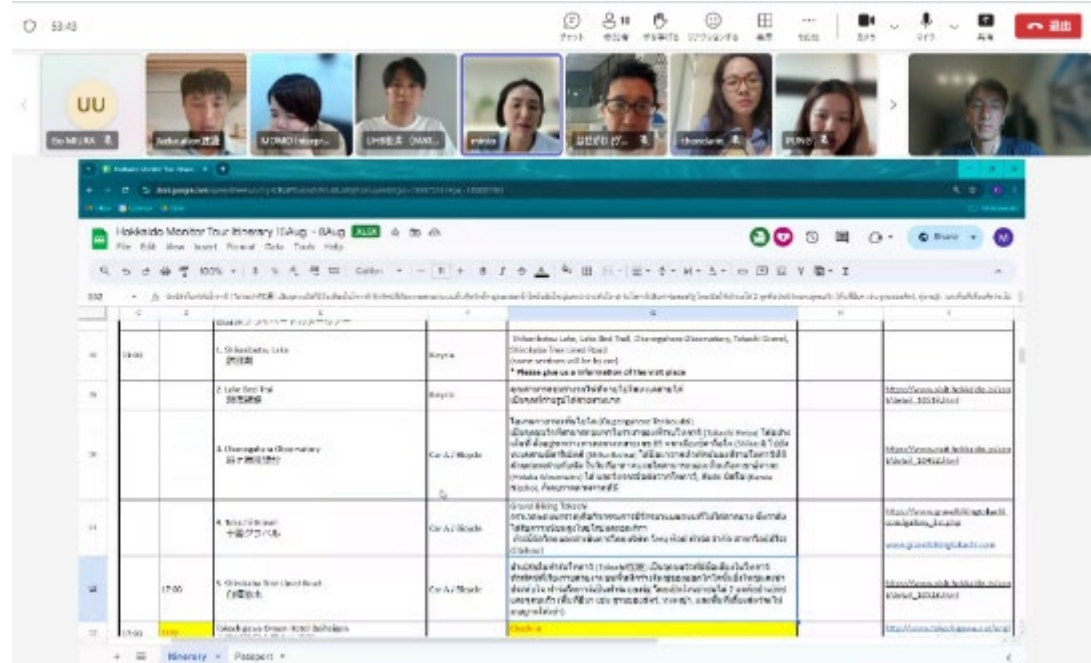
<https://www.facebook.com/GoGraph/>

Follower：325K followers

※ジャパンアンド社、ジェイエデュケーション社のコーディネートで招聘

※男性と比較して体力が劣る女性をモニターとすることで、広い層へのツアーの受容性をみたい

■モニターとの事前ミーティング（8月6日実施：行程やスケジュール、自転車に関する情報交換）



■「go!graph Japan」とは



ミントさん
「go!graph Japan」編集長
go!graph Japanはタイの
旅行メディアであるgo!graphの
日本に特化したメディアです

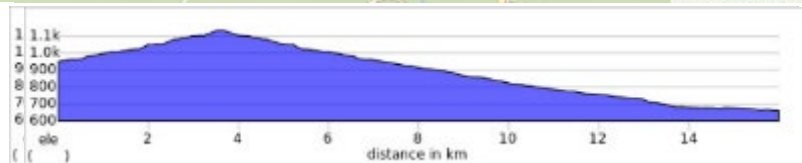
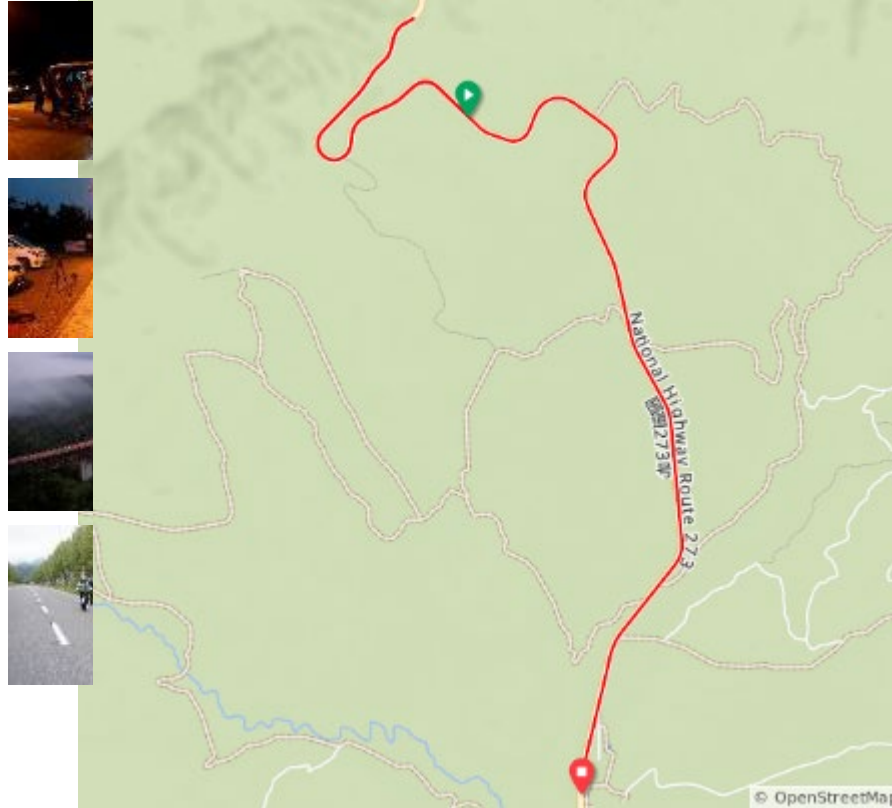


モニターツアー ルート 2日目

実施期間：8月14日（水）～8月18日（日）

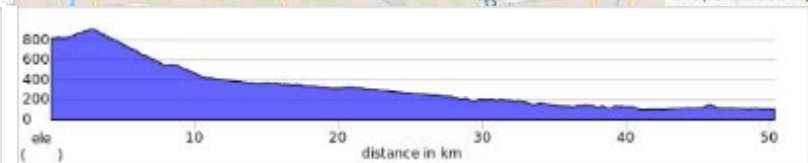
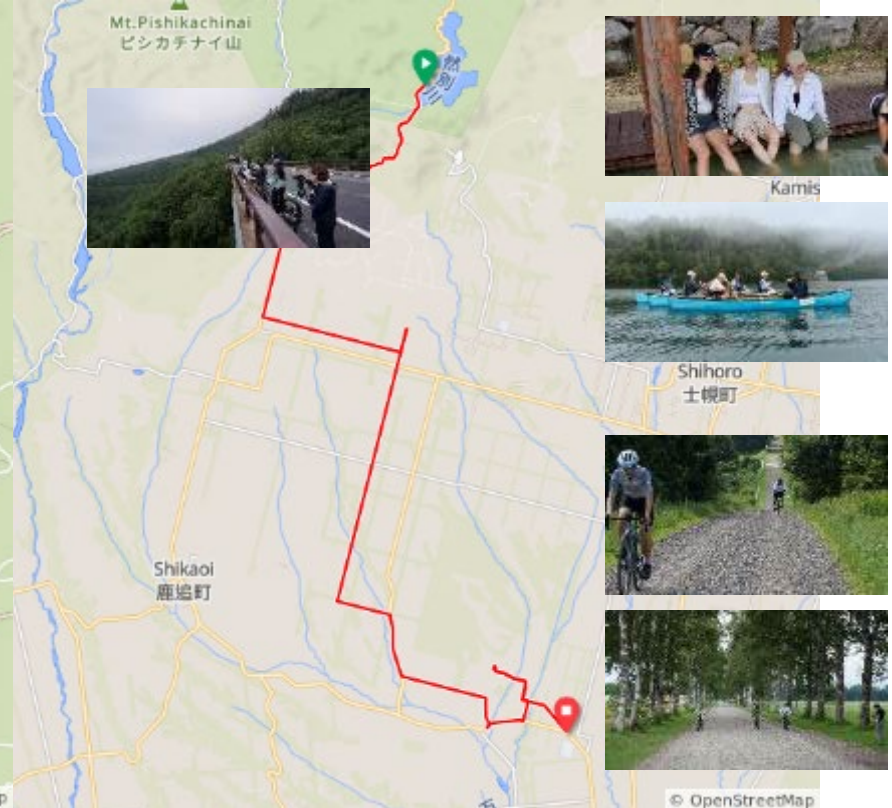
※初日は車両移動日のためサイクリングは無し

2日目（午前：三国峠）



⌚ 16 km + 187 m ↗ 12.1 %
⌚ 00:00 ⬇ - 478 m ↘ -11.2 %

2日目（午後：然別湖～十勝グラベル）

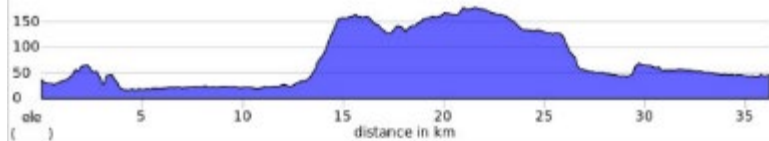
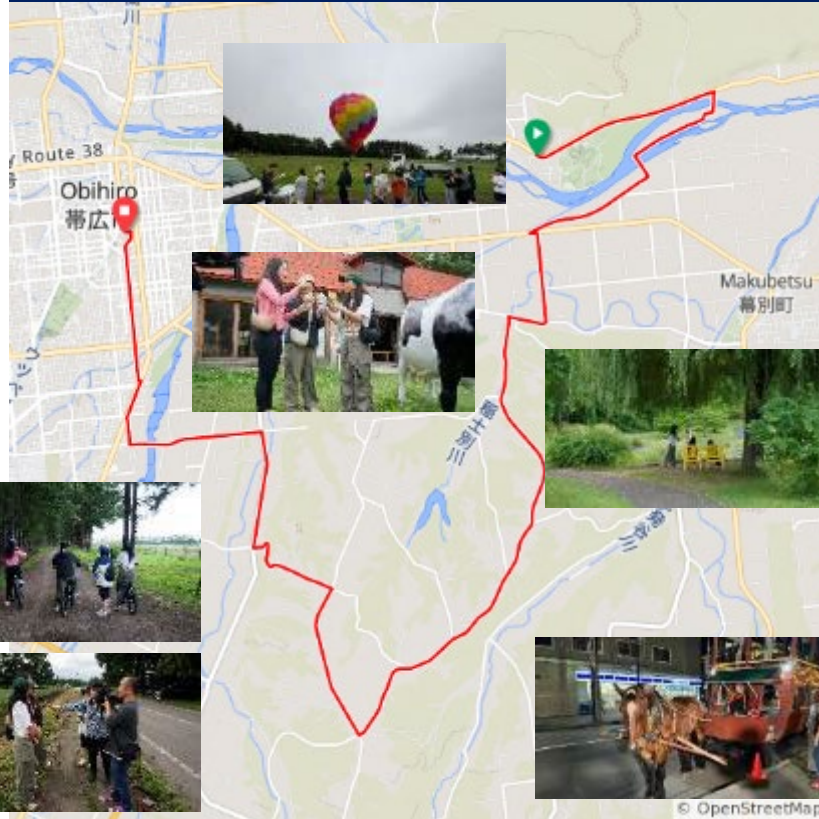


⌚ 50.3 km + 320 m ↗ 7.9 %
⌚ 00:00 ⬇ - 1,031 m ↘ -10.5 %

モニターツアー ルート 3日目・4日目

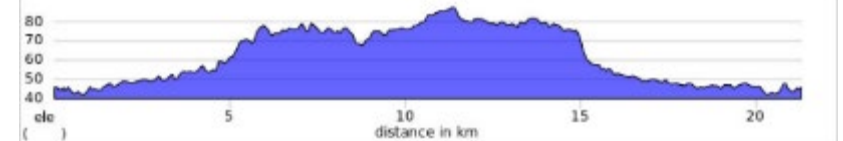
実施期間：8月14日（水）～8月18日（日）

3日目（十勝川温泉～十勝ヒルズ～帯広市内）



⌚ 36.2 km + 324 m ↗ 10.1 %
⌚ 00:00 🚲 - 313 m ↘ -9.6 %

4日目（帯広市内）



⌚ 21.3 km + 114 m ↗ 3.6 %
⌚ 00:00 🚲 - 114 m ↘ -5.8 %

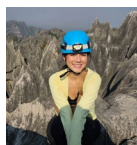
モニターツアー 参加者アンケート結果

実施期間：8月14日（水）～8月18日（日）

参加人数：モニター3名（タイ国籍 女性3名）

■モニター向けアンケート まとめ

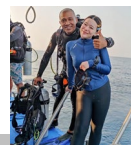
今回のモニターツアーでは、一般的に男性と比較して体力が劣る女性のモニターに参加してもらった。
 そうすることで、このツアーのメインコンテンツであるサイクリングコンテンツが、広い層（老若男女）にむけて体力的に受容性があるのかどうかを確かめた



ルークさん
サイクリング初級
北海道旅行中級
アクティブ



ユイさん
サイクリング初級
北海道旅行初
アクティブ



ブングさん
サイクリング中級
北海道旅行上級
超アクティブ

・サイクリングコンテンツ（ルート、距離、傾斜、景色、ガイド、ホスピタリティ）への評価

サイクリング経験が最も浅いルークさんは、サイクリングコンテンツへの評価として、距離や傾斜には課題があると答えており、自転車初級レベルのツアー客にとってはやや難易度が高い設定だったと言える

一方で、北海道への旅行が初めてだったユイさんは、自転車レベルは初級であるものの、今回モニターツアーで見た景色のすばらしさに感動し、サイクリングコンテンツを肯定的にとらえており、満足度が高かった

自転車レベルが中級で、北海道には何度も旅行できているブングさんは、サイクリングコンテンツの難易度にはやや物足りなさを感じているものの、初めての十勝の景色に感動し、そこそこの評価をしている

今回のモニターツアーのルートについて、自転車レベルが初級～中級レベルの参加者であれば満足できるものと分かった

・食事、宿泊施設、温泉への評価

モニター共通で、温泉への評価は高いが、宿泊施設の満足度は高くなく、食事はもっと地域性のあるものを用意する必要があることが分かった

・アテンド、街の観光、アクティビティへの評価

アテンドについては、今回のツアーでは評価が高かったが、その理由としては、通訳士がいたから満足度が高かったということが分かった

街の観光については、十勝ならではの庭園や馬車ツアーなどへの評価が高いことが分かった

アクティビティは初めてでも簡単に習得できるものが達成感があり、満足度が高いことが分かったが、鍵はインストラクターによる適切なアドバイス
 全体的にスケジュールが過密なので、もう少しコンテンツを減らすか、ツアー期間を延ばすか、必要

・消費額

ルークさん 当初予定 70,000～80,000円 ⇒ 実際 58,000円
 「もう少し買い物時間が欲しかった」

ユイさん 当初予定 40,000～50,000円 ⇒ 実際 45,000円

ブングさん 当初予定 80,000～90,000円 ⇒ 実際 85,000円
 「もう少し買い物時間が欲しかった」

ターゲット：十勝エリアで、今回のツアーを販売する際のターゲット像

サイクリングレベルは、初級～中級くらいのサイクリストがコアターゲット
 上級レベルのサイクリストは、対応できるルートやガイドさんがいるのでサブターゲット

× DINKSのカップル、もしくはアクティブシニア層のFIT

モニターツアー 関係者アンケート結果

実施期間：8月14日（水）～8月18日（日）
回答者数：7名

■関係者向けアンケート まとめ

意識の変化：今回のモニターツアーに参加した関係者のほとんどに、意識の変化が見られた。

全体の7割（5人/7人中）の関係者の意識に良い変化があった。

「積極的に旅行者とかかわりを持つことに重点を置きたい」

「十勝らしい『食』をいかしたツアーをつくりたい」

「（今後は）チャレンジングなサイクルツアーの開発、実施をしたい」

「運転手だから英会話が出来ないというのは通用しない時代」

旅行者とかかわりをもったり、地元食材にこだわったり、チャレンジングで、危機感の意識が高く
積極的かつ前向きな意見が多く集まるきっかけとなった。
結果的に意識がプラスに変化した。

有効な意見：今回のモニターツアーに参加した関係者のほとんどに、有効な気づきや肯定的な意見が多く見られた。

「英語によるコミュニケーションの重要性に気づいた」

「独学で英語を勉強し始めた」

「文化や（歴史の）背景をわかりやすく伝えることが重要」

地域の文化や歴史、そこにつながる背景をわかりやすく言語化して伝えることや、多言語コミュニケーションの重要性を認識するきっかけとなった。

改善策：改善点や建設的な意見を多く寄せられた。

「参加前のヒアリング（サイクルレベルやスキル）」のマッチングなど、事前の理解が必要
レンタサイクルの選び方についても、事前の把握が必要

「様々な国からの誘客をアピールできるように、商品化と販売に向けて励みたい」

「丁寧な説明やサポート、休憩ポイントの案内（きめ細かなケアとホスピタリティ）」

「柔軟なコース調整の仕組み」「オプションも用意する」

タビマエから自転車のレベルについてヒアリングを行うとともに、タビナカも要所要所（休憩や水分補給、食事の補給）でケアし、天候や体調などを考慮した柔軟なコース調整やオプションプランを用意するなど、対応についての改善に積極的な意見が見られた。

今回のモニターツアーの経験が、関係者各々の意識に大きなプラスの変化を生じるきっかけとなった

KPI検証・結果

モニターツアー参加者および関係者へのアンケート結果から、KPIを検証

■ KPI

- ①満足度向上・・・モニターツアー客のプログラム全体への期待値以上の満足度を目指す（とくに、女性参加者の満足度向上を目指す）
- ②現地スタッフのスキルアップ・・・サイクルガイド、食事、宿泊、アクティビティなど現地スタッフの連携・スキル向上・意識変化を目指す
- ③現地での消費額増加・・・サイクルツアー参加者によるツアー実施エリアの経済的効果（客単価アップなど）を目指す

■ KPIの達成状況について

①満足度向上

⇒サイクリングについては満足

サイクリングコンテンツへの満足度は期待値よりも高く、満足感を得られるコンテンツだということが分かった。
さらに、サイクリングへの満足度を高めるために、事前のレベルの把握やリクエストの集約と適切なスケジューリングが必要不可欠である。
また、食事に関しては期待値が高いため、地域性のある料理など地元色を押し出した料理を提供することが求められる。

②現地スタッフのスキルアップ

⇒スキルアップに欠かせない意識の変化（モチベーションアップを引き起こした）

サイクルガイド、サポートスタッフ、旅行会社スタッフ、通訳スタッフから集められた気づきからは、スキルの向上やコミュニケーションの重要性をはじめとした意識の好転がみられ、スキルアップに向けた意識の変化がみられた。

③現地での消費額増加

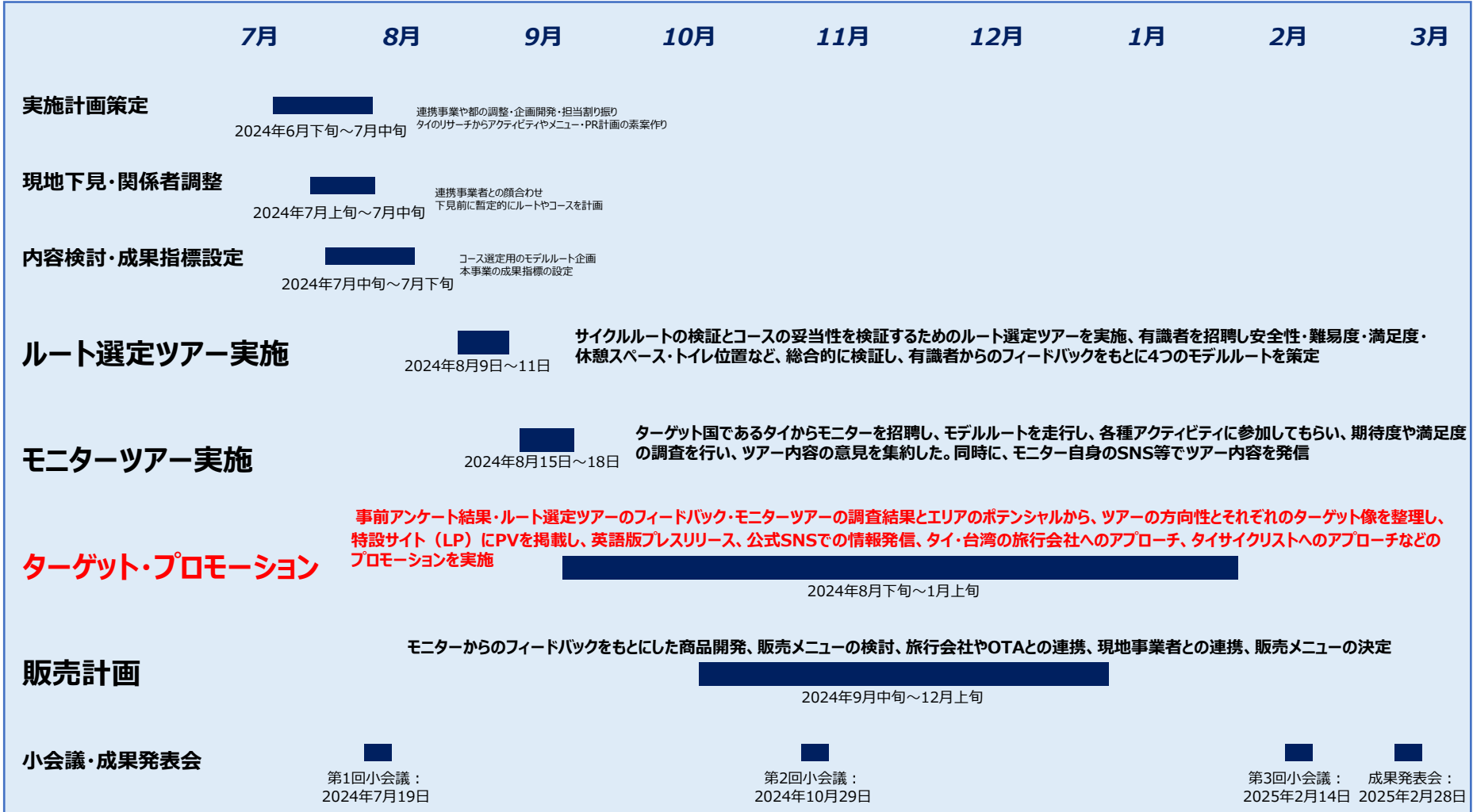
⇒消費の時間を設けることができず、期待以下であったが、時間があれば消費は増える と推測

今回のモニターツアーでは、サイクリングコンテンツの受容性を確認することに重点を置いていたため、消費するタイミングが少なく消費額については、期待値とほぼ同程度であった。

KPIについては、予め設定していた内容を大きく上回って達成することができ、大変有意義なモニターツアーとなった。
今後は、モニターツアーから出てきた課題などに対応し、ツアー販売に向けてさらに磨き上げを行うこととしたい。

ターゲット・プロモーションについて

■全体スケジュール



ターゲット詳細

タイの自転車愛好家（N＝63）向けに行った事前アンケートの結果とエリアが持つコンテンツやハード面のポテンシャルを加味し、組成できる旅行商品メニューの特性から訴求する内容を定め、**3つの方向性**で、メインターゲットとサブターゲットとなるターゲット像への具体的な打ち手やプロモーションの方向性を整理した。

①手軽×安心感 訴求

初心者でも安心して楽しめる ということを訴求する

■メインターゲットについて

- 【北海道初心者・日本旅行初心者（30～50代）】
- ・これまで日本には訪れたことがあるが、北海道は初めて
- ・サイクリング経験はあるが、長距離ライドには不安を感じる

■サブターゲットについて

- 【女性グループ旅行者（30～40代）】
- ・健康・ウェルネスを意識した旅行を好む
- ・運動しながら美味しいものを食べるツアーに興味がある

打ち手（戦術）

- 「手ぶらで参加OK」のオールインクルーシブプランを提供
 - 自転車レンタル、ウェア貸し出し、ガイド付き、送迎込みのツアー設計
- 「E-BIKEプラン」初心者向けオプションを追加
 - 上り坂や長距離でも楽に走れるように、E-BIKEのレンタルを導入
- タイ語対応のコンシェルジュサービスを用意
 - タイ語サポートを提供し、安心感を高める

プロモーションプラン

- ①「E-BIKEで楽々北海道ライド」プロモーション
 - ・初心者向けに「E-BIKEなら楽々サイクリング」をアピール
 - ・ソーシャルメディア広告に「北海道の絶景×E-BIKE」の快適ライドを映像で表現
- ②「北海道スイーツ×サイクリング」女子旅感を訴求したプロモーション
 - ・サイクリング＋スイーツ巡りを組み合わせた「#SweetRideHokkaido」プランを開発
 - ・地元のカフェ巡りを組み合わせ、インスタ映えを狙う

②アクティブ×避暑 訴求

初心者でも安心して楽しめる ということを訴求する

■メインターゲットについて

- 【都市部のアクティブ層（30～50代）】
- ・バンコク・チェンマイ・プーケットなどの都市部に在住
- ・健康志向が高く、アウトドアアクティビティに関心がある
- ・国内外のスポーツイベントに参加経験あり

■サブターゲットについて

- 【30代のファミリー層（親子・夫婦）】
- ・子供と一緒にアクティブな旅行を楽しみたい
- ・夫婦でのヘルシーなライフスタイルを重視

打ち手（戦術）

- 「タイの猛暑 vs 北海道の涼しさ」比較動画を配信
 - ソーシャルメディアで短編動画を投稿（気温・湿度の違いを強調）
- 「北海道サイクリング×避暑」テーマの広告を展開
 - FacebookやInstagram広告をバンコク・チェンマイの都市部に配信
- 「避暑サイクリング＋温泉リラックス」セットプランを開発
 - ライド後に十勝川温泉・然別湖温泉を組み合わせ、アクティブ層×リラクゼーション層に訴求

プロモーションプラン

- ①「北海道 vs バンコクの気温比較」SNS広告（Facebook & Instagram）
 - ・バンコクの気温40℃ vs 北海道の気温20℃を強調した比較広告
- ②「#CoolCyclingHokkaido」などのハッシュタグを活用し、避暑地としての魅力を発信
 - ・「Bangkok Marathon」「Thailand Cycling Classic」などのスポーツイベントでPR
- ③タイ国内の高級ホテル・レストランでのPRイベント開催
 - ・北海道サイクリング体験VR & サイクリング専用ボトルなどオリジナルグッズを配布
- ④タイの旅行系YouTuber & TikTokerとコラボ
 - ・タイの人気サイクリング系インフルエンサーを北海道に招待
 - ・「北海道の涼しさ×アクティブ体験」をリアルに伝える動画を制作

③プレミアム×特別体験 訴求

富裕層向けに特別な体験を提供する ということを訴求する

■メインターゲットについて

- 【高所得層・富裕層（35～60代）】
- ・年収1,500万円以上のエグゼクティブ層
- ・ヨーロッパやアメリカでのサイクリングツアー経験あり
- ・高級リゾートや特別な体験を重視

■サブターゲットについて

- 【エリート層のリタイア世代（50代以上）】
- ・体力に自信があり、ラグジュアリーな旅行を好む
- ・個別のオーダーメイドプランを求める

打ち手（戦術）

- 「プライベートサイクリング×ヘリ送迎」VIPプランを開発
 - 札幌or新千歳空港からヘリで十勝エリアへ移動、専属ガイド付きライド
- 「北海道×グルメ×サイクリング」特別ルートを設定
 - ルート途中でミシュランレストランやファーム・トゥ・テーブル体験を組み込む
- 「限定10名」超少人数制のプレミアムツアー
 - 「限られた人しか体験できない」希少性を訴求し、エクスクルーシブ感を演出

プロモーションプラン

- ①富裕層向けのVIPエージェントと提携
 - ・富裕層向けの旅行代理店やOTAと連携したプロモーション
- ②「限定10名様・完全プライベート」などエクスクルーシブ感を強調し、希少性を訴求
 - ・タイ国内の高級ホテル・レストランでのPRイベント開催
- ③バンコクのラグジュアリーホテルで北海道の美食×サイクリングの体験イベントを開催
 - ・富裕層向けに「北海道×食×サイクリング」のストーリーを伝える映像を制作
- ④日本の有名サイクリストとのプレミアムライド企画
 - ・日本のプロライダーと一緒に走るVIPサイクリング
 - ・日本のレジェンドがルート設定、したツアーであることをブランディング

プロモーションの全体像

- プロモーション動線の考え方 オンライン展開としては、ソーシャルメディアを活用したプロモーション、オフライン展開としては、イベント展開を中心にしたプロモーションをそれぞれ行い、イメージ訴求やコミュニティ形成をし、LPへ誘導、そこで商品への理解を深めてもらい、OTAへ送客していく流れを作った。

サイクリストコミュニティの形成

ソーシャルメディア展開（海外向け） オンライン



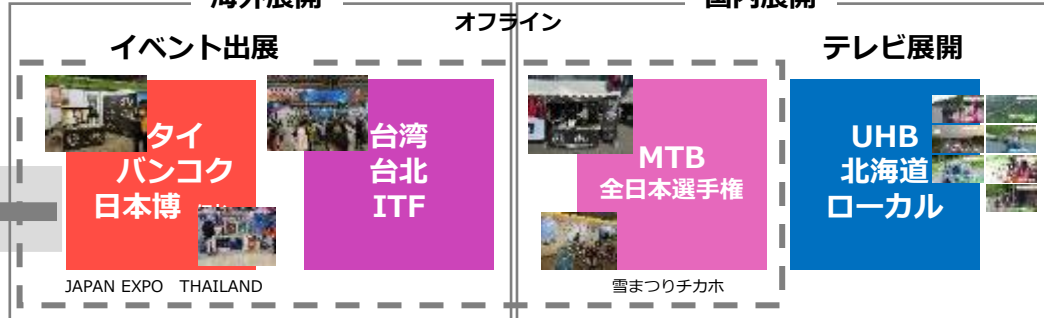
コミュニティの活性化・ファン醸成
想定ターゲット層へのプロモーション

親日家向け（自転車愛好家）施策

海外展開

オフライン

国内展開



旅行商品の興味喚起・認知促進
想定ターゲット層へのプロモーション

興味喚起
商品理解
世界観醸成
エリア魅力発信



エリア情報
ルート情報
マップ情報

CYCLINGOUTHOKKAIDO.COM



プレス
リリース

日本語版/英語版

新聞



OTA
販売サイト

商品購入

北海道アクセスネットワーク
国内外OTA
プライベートコネクション 等

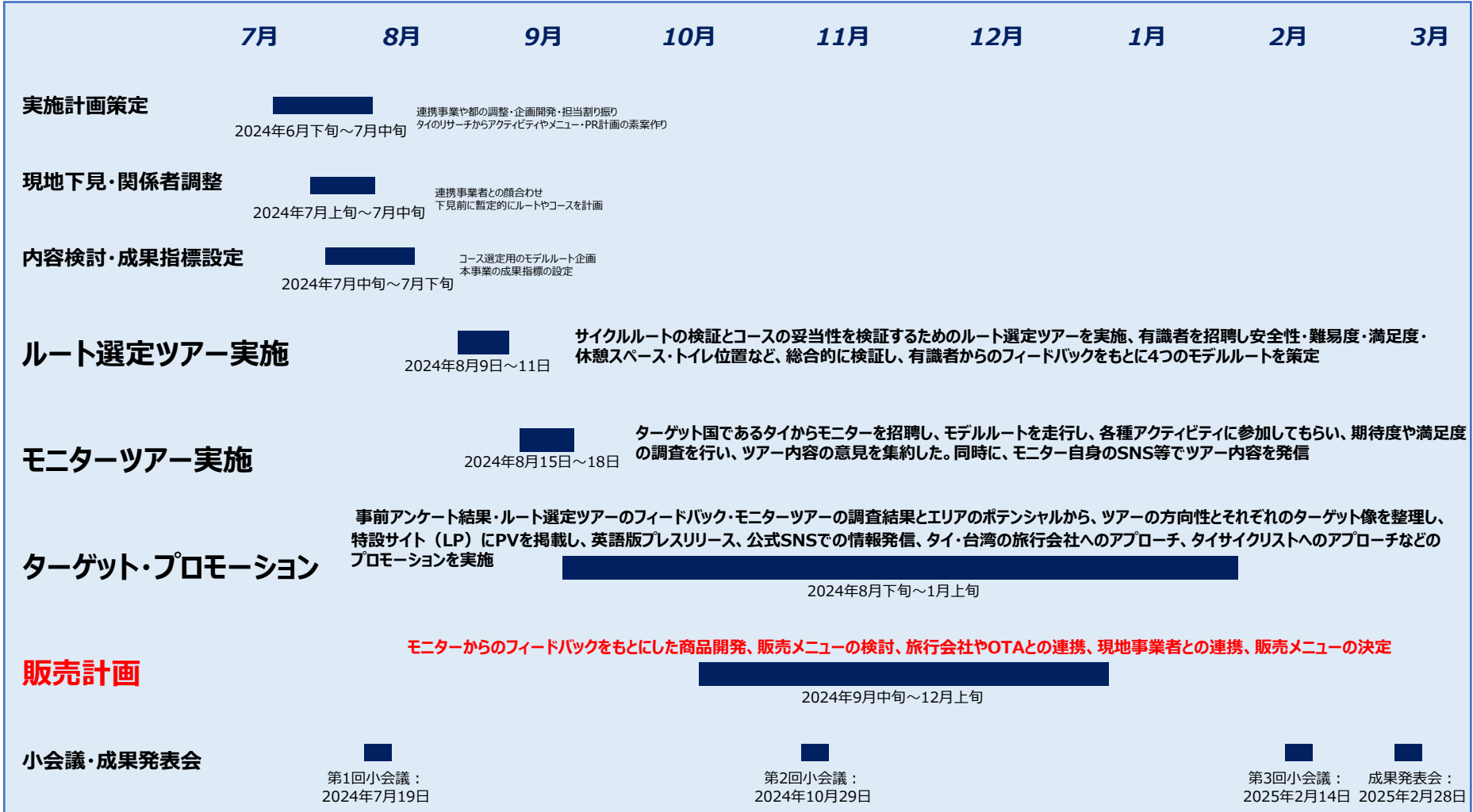
旅行
参加

ラン
オペ

北海道アクセスネットワーク
東武トップツアーズ
エリアの事業者

販売計画について

■ 全体スケジュール

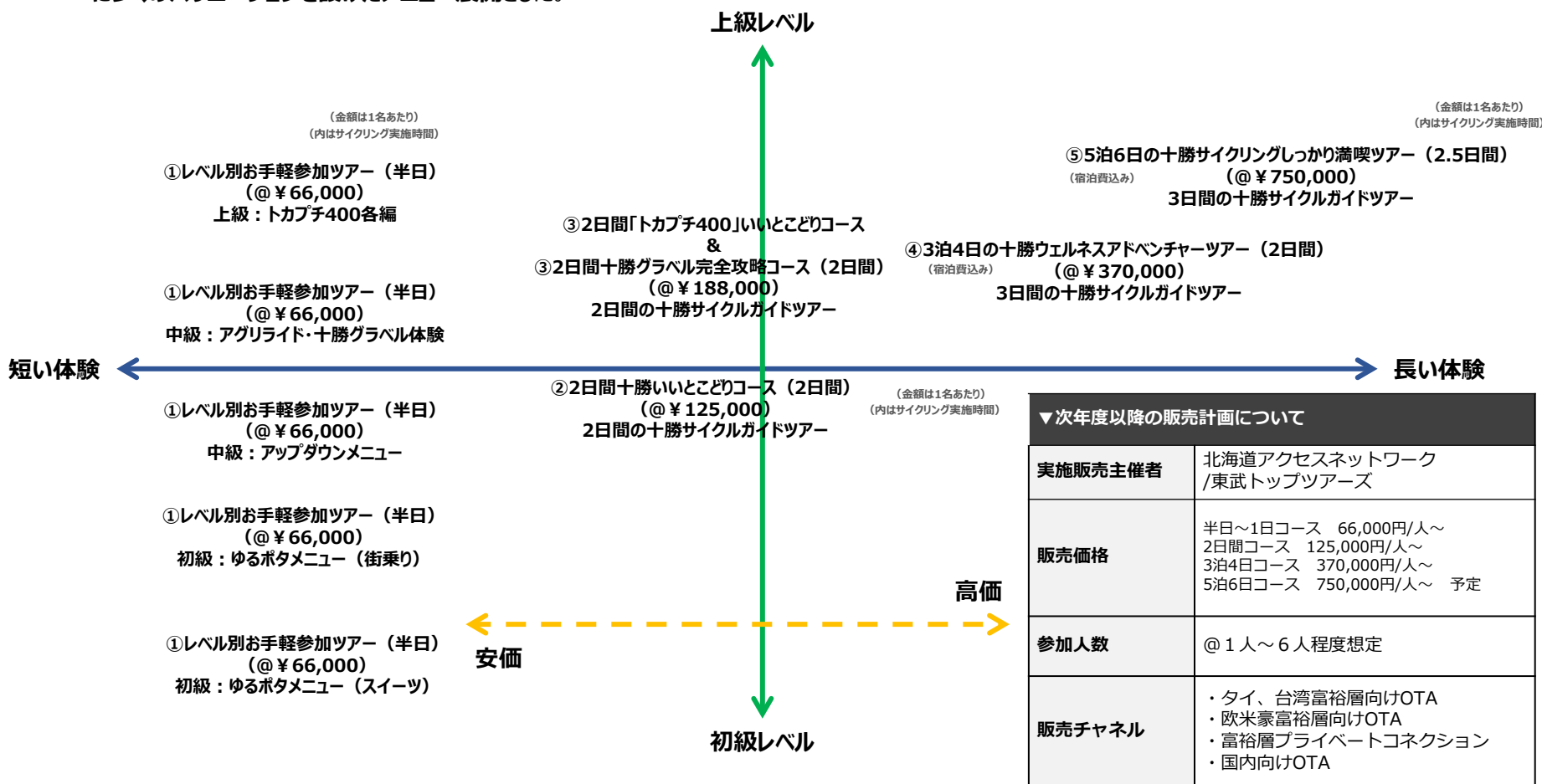


販売メニューの分類

■販売メニューのバリエーションについて

今回のターゲット国である「タイ」の国民性に合わせて、自転車に乗る日と乗らない日をしっかりと分けたプランにし、**ライト層でも十分に楽しんでもらえるよう、「お手ごろ」に「参加しやすいメニュー」を用意し、自転車ツアーとしての敷居を下げた（参加の間口を広くした）。**

とはいえ、本気で北海道の自転車を楽しみたい方に向けた「満足メニュー」も用意するなど、ターゲットを広めに設定するとともに、**レベル別、期間別に難易度に多くのバリエーションを設けたメニュー展開**とした。



販売メニュー詳細（タリフ）

■ 販売メニュー ①～③

①レベル別お手軽参加コース（①-1～①-6までの6コース用意）

販売価格66,000円～ 1名参加の場合

半日（4～5時間程度）の十勝サイクルガイドツアー（宿泊は個人手配で、十勝のサイクリングを体験したいお客さま向け）

（帯広市内発着、自転車は帯広市内でレンタル、サポートカーは無し、サイクルガイドのみ帯同、保険付）

半日：初級・中級・上級レベル

★半日4～5時間程度のサポートカー無しのプラン、帯広駅発着で近郊のルートをいくつか用意して、レベル別に下記ネーミングで販売

初級向け：①-1ゆるボタメニュー（街乗りコース、スイーツコース）

中級向け：①-2アップダウンあるメニュー（簡単なアップダウンコース）、①-3アグリライドやグラベル体験（十勝グラベル体験コース）

上級向け：トカプチ400を少し取り入れた距離とアップダウンのあるルート（ルート別に3コース ①-4トカプチ400然別湖編、①-5トカプチ400三国峠編、①-6トカプチ400空港方面編）

②2日間十勝いいとこどりコース（②-1）

販売価格125,000円～ 1名参加の場合

十勝エリアの宿泊は個人手配で、滞在中に2日間しっかりサイクリングを盛り込みたいお客さま向け（サポートカー無し）

2日間の十勝サイクルガイドツアー

（帯広市内発着、自転車は帯広市内でレンタル、サポートカーは無し、サイクルガイドのみ帯同、保険付、※3名以上参加の場合、添乗サポート付き）

2日間：初級～中級レベル

<行程イメージ>（サイクリングは1日あたり7時間程度）

1日目：AM十勝ヒルズ周遊ルート（帯広駅スタート、千代田えん堤、十勝ヒルズ、真鍋庭園、カマツ並木など）

2日目：十勝グラベル+アグリライド レベルに応じて距離を設定

③2日間「トカプチ400」いいとこどりコース仮&2日間十勝グラベル完全攻略コース

販売価格188,000円～ 1名参加の場合

十勝エリアの宿泊は個人手配で、滞在中に2日間しっかりサイクリングを盛り込みたいお客さま向け（サポートカー付き）

（帯広市内発着、自転車は帯広市内でレンタル、サポートカー付き、サイクルガイドのみ帯同、保険付、※3名以上参加の場合、添乗サポート付き、一部区間ハイヤー利用）

2日間：中級～上級レベル

2日間の十勝サイクルガイドツアー（選べる2コース）

③-1：2日間「トカプチ400」いいとこどりコース：十勝ヒルズ方面周遊+早朝からの三国峠方面周遊ルートのコース

③-2：2日間十勝グラベル完全攻略コース：十勝グラベル完全攻略コース

<行程イメージ>（サイクリングは1日あたり7時間程度）

③-1：2日間「トカプチ400」いいとこどりコース

1日目：AM十勝ヒルズ周遊ルート（帯広駅スタート、千代田えん堤、十勝ヒルズ、真鍋庭園、カマツ並木など）レベルに応じて距離を設定

2日目：早朝 三国峠ヒルクライム&ダウンヒル～ PM然別湖ルート（早朝ホテル送迎、2日間ともサポートカー付）

③-2：2日間十勝グラベル完全攻略コース仮

1日目：十勝グラベルルート レベルに応じて距離を設定

2日目：アグリライド（ホテル送迎、2日間ともサポートカー付）

販売メニュー詳細（タリフ）

■ 販売メニュー ④～⑤

④ 3泊4日の十勝サイクリングしっかり満喫コース（④-1）

販売価格370,000円～ 1名参加の場合

3泊4日の十勝サイクリング満喫ツアー（サイクリングは2日間実施：2日間しっかり十勝のサイクリングを体験したいお客さま向け）

（新千歳空港発着、自転車はスペシャライズドでレンタル、ハイヤーとサポートカー付、サイクルガイド付き、十勝エリアでの3泊宿泊付（朝食のみ付帯）、保険付）

<行程イメージ>（サイクリングは1日あたり7～8時間程度）

1日目：PM新千歳空港お迎え、北広島スペシャライズド自転車フィッティング、然別湖へ移動 然別湖宿泊

2日目：早朝三国峠ヒルクライム、ダウンヒル、PMグラベル、帯広市内温泉宿泊

3日目：AMトカプチ400、PMトカプチ400、帯広市内温泉宿泊

4日目：AMフリータイム PM新千歳空港へ移動 フライト

2～3日間：中級～上級レベル

⑤ 5泊6日の十勝ウェルネスアドベンチャーコース（⑤-1）

販売価格750,000円～ 1名参加の場合

5泊6日の十勝ウェルネスアドベンチャーツアー（サイクリングは2.5日間実施：サイクリングもアクティビティも自由時間も楽しみたいお客さま向け）

（新千歳空港発着、自転車はスペシャライズドでレンタル、ハイヤーとサポートカー付、サイクルガイド付き、十勝エリアでの5泊宿泊付（朝食のみ付帯）、各種アクティビティを用意、保険付）

<行程イメージ>

1日目：PM新千歳空港お迎え、北広島スペシャライズド自転車フィッティング、十勝方面へ移動（トマム泊）

2日目：AM移動、帯広近郊トカプチ400体験、帯広市内温泉宿泊

3日目：早朝気球フリーフライト、フリータイム、PM然別湖カヌー、然別湖宿泊

4日目：早朝三国峠ヒルクライム、ダウンヒル、PMフリータイム（乗馬・などアクティビティ）、帯広市内温泉宿泊

5日目：AM帯広市内ゆるボタ、PMフリータイム、帯広市内温泉宿泊

6日目：AMフリータイム PM新千歳空港へ移動 フライト

3日間：中級～上級レベル



OTAおよびランオペ

■販売計画（OTAやランドオペレーション）

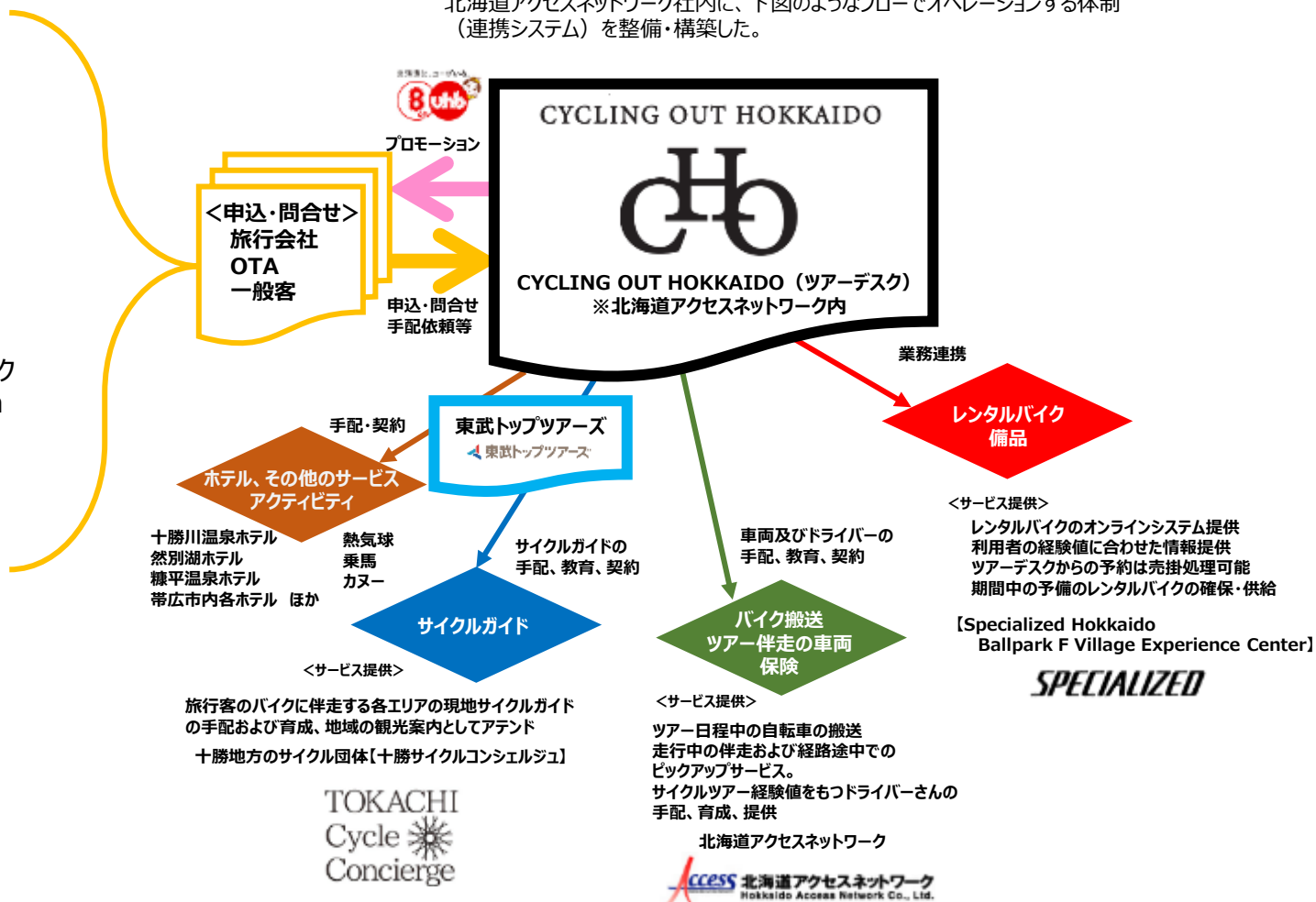
OTA

VELTRA
リンクティビティ
じゃらん遊び体験
アソビュー
たびらい北海道
旅プラスワン
Klook
Kkday
JTB GMT
オプションブックマーク
北海道体験.com

等想定しています。

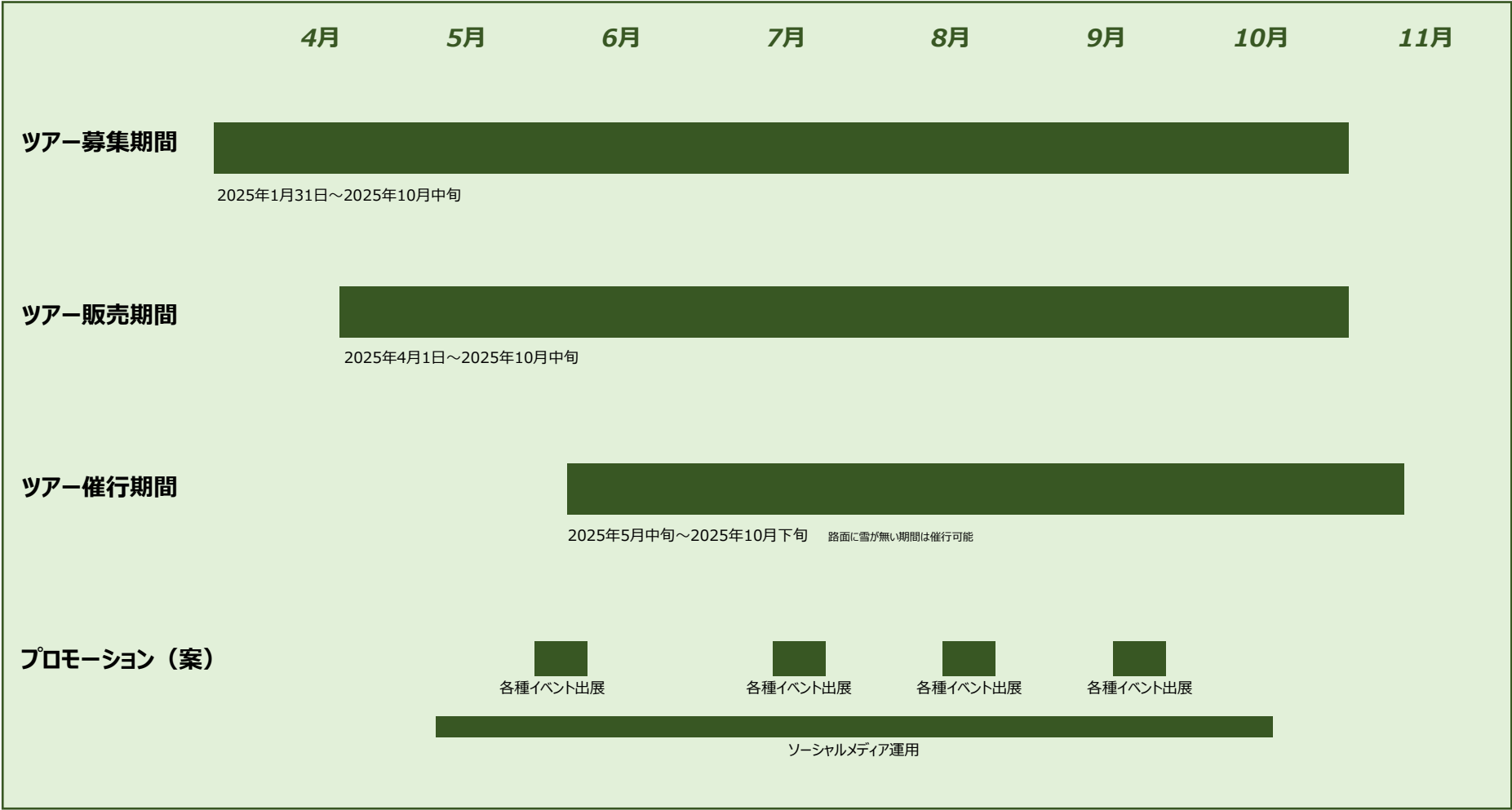
OTA～ランオペ

ツアー申込者からの申込があった際に瞬時に対応できるよう、北海道アクセスネットワーク社内に、下図のようなフローでオペレーションする体制（連携システム）を整備・構築した。



販売スケジュール

■ 販売計画（2025年度スケジュール）



事業の総括（まとめ）

モニターツアーについて

知りたいこと	タイのサイクリストにとって、今回の企画内容が、どれほど支持されるかを明らかにする （サイクリングの感想：距離・傾斜・景色・ガイド・ペース・ホスピタリティ、食事、宿泊施設、温泉、アテンド、観光、サイクリング以外のアクティビティについてアンケート調査する）
わかったこと	モニターツアー参加者からのアンケート調査で分かったこととして、 ・サイクリングのレベルについては初級・中級レベルでメニュー開発をするべき ・サイクリング一辺倒にならないように、自転車に乗らない日程なども組むべき ・食事や買い物などアフターアクティビティの時間も予定に組み込むべき ・サイクリングのレベルについては、旅行前に綿密にヒアリングするべき ・期間中は現地の情報に通じている自転車ガイドや通訳およびナイトタイムもガイドできるスルーガイドが必要

効果測定・検証について

KPI	①満足度向上⇒モニターツアー客のプログラム全体への期待値以上の満足度を目指す（特に、女性参加者の満足度向上を目指す） ②現地スタッフのスキルアップ⇒サイクルガイド、食事、宿泊、アクティビティなど現地スタッフの連携・スキル向上・意識変化を目指す ③現地での消費額増加⇒サイクルツアー参加者によるツアー実施エリアの経済的効果（客単価アップなど）を目指す
効果検証結果	① サイクリングコンテンツについては期待値以上の満足度を達成 サイクリングコンテンツへの満足度は期待値よりも高く、満足感を得られるコンテンツだということが分かった。 さらに、サイクリングへの満足度を高めるために、事前のレベルの把握やリクエストの集約と適切なスケジューリングが必要不可欠である。 また、食事に関しては期待値が高いため、地域性のある料理など地元色を押し出した料理を提供することが求められる。 ② スキルアップに欠かせない意識の変化（モチベーションアップを引き起こした） サイクルガイド、サポートスタッフ、旅行会社スタッフ、通訳スタッフから集められた気づきからは、スキルの向上やコミュニケーションの重要性をはじめとした意識の好転がみられ、スキルアップに向けた意識の変化がみられた。 ③ 消費の時間を設けることができず、期待以下であったが、時間があれば消費は増えると推測 今回のモニターツアーでは、サイクリングコンテンツの受容性を確認することに重点を置いていたため、消費するタイミングが少なく消費額については、期待値とほぼ同程度であった。

次年度展開について

本事業により、我々が目指す事業のターゲット像や販売メニューの詳細（レベル感やコンテンツ内容）が明確となった。また、各種関係者（エリア事業者・旅行会社・海外旅行会社・海外プロモーション会社・自転車業界関係者・インフルエンサー・KOL・国土交通省・市町村・DMOなど）との連携により、効果的なプロモーションを行うための最短距離の下地ができたと考えている。次年度は、これらの資産を活用して、自走に向けて取り組みたい。

スポーツ庁・専門委員の皆様・事務局の皆様、ここまで1年間弱にわたり、私どもの事業に伴走いただきありがとうございました。